

梨のミツバチ受粉 始まる



豊田市南部の福受（ふくじゅ）地区では梨の開花に合わせ、ミツバチによる梨の受粉作業が始まります。梨は異なった品種でないと受粉しない性質を持っており、同地区の梨農家ではミツバチを使った受粉作業で、おいしい梨を作っています。

ミツバチは市内の養蜂家から借り受け、同地区の畑（面積：約7.5ヘクタール／梨の木の木の本数：約2,200本余り）の約8割程度をミツバチによって受粉させ、農家の作業量軽減に役立てています。福受地区ではミツバチを活用した受粉を40年以上前から続けています。

受粉作業は花の状態を確認しながら10日～2週間ほど続けられます。



△当日はこのような写真が撮れる予定です

《令和3年 JAあいち豊田梨部会よりの資料》

栽培面積：27.0ha

栽培農家(部会員)：43戸

出荷量（令和2年選果場出荷量）：370t

《取材日時》

取材日時：4月7日（水） 午前10時

集合場所：福受梨組合集荷場

（豊田市福受町中ノ切26番地）

取材ほ場は別の場所です。

【雨天の場合は8日（木）予定】

取材を希望する場合は、下記まで事前にご連絡ください。

《お問い合わせ先》

住所：JAあいち豊田 営農部 猿投営農センター 選果場（豊田市四郷町森前187番地）

TEL：(0565) 46-2217 FAX：(0565) 43-2031

担当：岡本 竜一 取材当日の連絡先 岡本（携帯）090-6582-1170

～お気軽にお問い合わせください～